

第138期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第×切ります)

講義時間は、午後7時～9時10分(休憩も含みます)

総合コースは、18回講義のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回講義のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

テキストは、総合コースはレジュメを準備しております。世界観コースは、エンゲルス著『反デューリング論』(新日本出版社)、経済学コースは、レーニン著『帝国主義論』(新日本出版社)を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

受講料は、総合コースは、10,000円、それ以外は、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。
二条城市営駐車場へお願いします。
地下鉄丸太町駅・二条城前駅から『京都学習会館』まで歩いて10分以内です。

キリトリ

第138期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みコースチェック		総合	世界観
経済学			
ふりがな	性別	年齢	
氏名:	男・女	才	
現住所			
職場・学園			
労働組合		(全国単産)	
電話: 職場 ()		自宅 ()	

『反デューリング論』... 注文する。 『帝国主義論』... 注文する。

黙つていって なかに我を奪われたい

2011年の労働学校
募集開始です。

「はたらけど はたらけど 猶(なお)わが生活(くらし) 楽にならざり じっと手をみる」.....石川啄木が生きた“時代閉塞”といわれた当時以上の深刻さが、日本でひろがっているといわれます。

いま、じっと我慢して従っていても解決の糸口さえもみつきりません。“使い捨て”の現実が..。

京都で唯一の労働者の学校で科学的社会主義を学び、社会の根本と打開の展望を学びましょう。



科学的社会主義を学ぶ労働者の学校
京都中央労働学校 138期生募集
申込先は
京都労働者学習協議会
電話 841-8141 FAX 821-3665

京都中央労働学校は、科学的社会主義を学ぶ学校です。総合コースは、労働学校のメインコースです。私たちの住んでいる日本社会は「資本主義社会」です。その仕組みをまず学びます。その社会で生産・流通を支えているのが労働者である私たちです。その素晴らしさをまなびます。日本国の主人公は国民だと憲法に定められています。しかし主人公がひどい貧困と格差の中にあります。なぜでしょう。日本全国に米軍基地があります。平和憲法をもつ日本になぜ戦争実行部隊がいるのでしょうか。TVなどの報道では、アジア・中国に対する蔑視が気になります。その理由を学びます。日本社会の「しくみ」、社会を歴史の進歩の方向に変革してゆく運動、日本と世界の将来、「社会主義・共産主義」について学びます。総合コースでは、「知のESSENCE」と題して4回にわたって私たちが「ものごと」を見たり考えたりするために必要な、それを学ぶことによって「知的な人生」を切り開く「知の鍵」ともいえる「ESSENCE」を学びます。……などなど、身近な問題を素材にして科学的社会主義を総合的に学びます。

科学的社会主義の
総合コース

◎働くものの未来を学ぶ

2/26 (土) 開校オリエンテーション

3/01 (火) 第01課 マルクスは何を発見し変革したか

3/04 (金) 第02課 資本主義はどんな特徴をもっているのか

3/08 (火) 第03課 「搾取」そのしくみと強める方法

3/11 (金) 第04課 「訓練され、結合され、組織され」る労働者

3/15 (火) 第05課 資本主義の「推進力」とその「矛盾」

3/18 (金) 第06課 戦後日本の歴史 労働者・国民のたたかい

3/22 (火) 第07課 *知のESSENCE 人間らしさと働くこと

3/25 (金) 第08課 日本の「アジア観・中国観」

3/29 (火) 第09課 *知のESSENCE 人間の知性と自由

4/01 (金) 第10課 日本社会はどんな特質をもっているか

4/05 (火) 第11課 *知のESSENCE ものの見方・考え方のエッセンス

4/08 (金) 第12課 職場と生活を変える労働組合のはなし

4/12 (火) 第13課 政治を変える統一戦線のはなし

4/15 (金) 第14課 わたしたちにとって「労働法」とは

4/19 (火) 第15課 *知のESSENCE マルクスの社会観とは

4/22 (金) 第16課 「資本主義の限界」とはどういうことか

4/26 (火) 第17課 世界中で「変革」の実践がすすんでいる

4/29 (金) 第18課 人類の未来社会「社会主義・共産主義」とは



世界観コース マルクス・エンゲルスの「世界観」を学ぶ 138期 エンゲルス著「反デュリング論」から学ぶ 講師は、鯨坂 真・関西大学名誉教授



3/04 (金) 第1課 『反デュリング論』とその時代
デュリング氏とは何者か。彼の主張。

3/11 (金) 第2課 時間・空間とは何か。
無限な時間・無限な空間とは何か。

3/18 (金) 第3課 物質とは何か
運動とは、力とは何か

3/25 (金) 第4課 生物とは何か
生命・進化とは何か、ダーウインの業績と限界

4/01 (金) 第5課 真理とは何か
相対的真理と絶対的真理、善と悪など

4/08 (金) 第6課 平等とは何か
その歴史性など

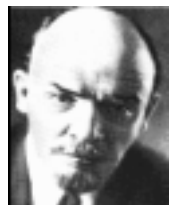
4/15 (金) 第7課 自由と必然性
自由とは必然性の洞察である。

4/22 (金) 第8課 弁証法・量と質
弁証法的矛盾・運動・生命など

4/29 (金) 第9課 弁証法・否定の否定
個人的と同時に社会的所有、生物の生長、など

経済学コース

138期 レーニン著「帝国主義論」を学ぶ
講師は、麻生 潤・同志社大学准教授



自由競争から独占へ、帝国主義という新しい段階に到達した世界資本主義を、事実の総体を取りあげて全面的に分析。激動の世紀を生き抜いてきた古典を、21世紀の今日に読む。

2/28 (月) 第1課 レーニンが生きた時代と現代

3/07 (月) 第2課 独占の支配と巨大企業

3/14 (月) 第3課 全能の支配者 - 現代の巨大銀行(証券)

3/21 (月) 第4課 金融資本 - 現代の支配的資本のすがたと政治

3/28 (月) 第5課 資本輸出と世界の分割 - 多国籍企業と世界経済

4/04 (月) 第6課 戦争と帝国主義・帝国主義と民族紛争の起源

4/11 (月) 第7課 自由競争の資本主義と帝国主義 - 新自由主義とは何か

4/18 (月) 第8課 寄生性と腐朽性 - 民主党の経済的基礎

4/25 (月) 第9課 帝国主義論と今日の世界